

団体名		社会福祉法人 武蔵野						
①	指標名	高齢者・身体・知的障害者の施設定員に対する1日平均利用者数（デイサービス等利用者）			目標値	100%以上	実績値	81.6%
	過去の実績	平成24年度	平成25年度	平成26年度	達成率	81.6%	達成状況	未達成
	(単位: %)	89.9	88.7	88.2				
	取組内容	<p>○ 全ての施設において定員以上の利用者を確保することを目標に、サービスの向上に努め利用者の満足度向上に努めたが、死亡や転出などにより欠員が生じたほか、高齢者デイサービスの利用率が悪かった。</p> <p>○ すばるにおいて、専門職（嘱託）が定着しなかったことから、利用者の増加に結びつかなかった。</p>						
	一次評価	高齢者部門では、ゆとりえデイサービスの利用率が向上してきており、ケアハウスにおいても定員の見直しやサービス内容の見直しを行い、利用者増に結びつける。障害者部門では、就労移行部門を除き、年度途中での利用開始が見込まれないことから、年度当初から定員を超えた利用者獲得をめざし、家族説明会や学校対象の説明会を充実させている。						
二次評価	ゆとりえデイサービスの利用率の向上等の実績もみられるが、サービスの質の向上と両輪である経営の安定化を図るためにも、利用者の増加に努めていただきたい。							
②	指標名	介護保険・自立支援費等収入			目標値	1,000,000	実績値	894,489
	過去の実績	平成24年度	平成25年度	平成26年度	達成率	89.4%	達成状況	未達成
	(単位: 千円)	822,148	831,069	846,727				
	取組内容	<p>① グループホームくすの木の 신설により自立支援費収入は増加したが、一部施設での欠員や自立支援費、介護報酬の見直しによる減算の影響により目標には達しなかった。</p> <p>② 職員研修を充実させることにより、更なるサービスの向上に努めた。</p> <p>③ 定員を埋めることで、100%の稼働率を目指した。</p>						
	一次評価	障害者部門では、通所系施設の稼働率が、60%~70%代の事業所があるので、まずは80%以上の稼働率を目指す。高齢部門では、ゆとりえのデイサービスが80%台の稼働率となったが、ケアハウスのデイサービスが60%台と低迷している。高齢者関係の施設が近隣市を含め過密状態なので苦戦しているが、地域と一体となった施設の強みを出していきたい。						
二次評価	事業全体では着実に収入を増やしており、平成27年度は目標値を上げ、目標値達成に向け取り組んでいる。具体的な課題も把握しており、今後に期待する。							
③	指標名	人件費率の縮小（正規職員の抑制及び臨時職員の待遇改善と効果的な人事給与制度の確立）			目標値	65	実績値	67(50)
	過去の実績	平成24年度	平成25年度	平成26年度	達成率	97.0%	達成状況	未達成
	(単位: %)	69	69	66(46)				
	取組内容	<p>※ 数値のうち、()内の数値は非常勤職員の賃金を除いた数値だが、非常勤職員には嘱託も含んでいる。</p> <p>独自給与表(東社協参考給与表)を減額したり、定期昇給の初級幅を2号にするなど、職員の給与を抑制しているが、市の給与表によっていた時期に高額となった職員給与が全体を圧迫している。15年後には多くの高額給与職員が退職を迎えるので、人件費率が下がるがしばらくは高めの数字が続くと考えている。</p>						
	一次評価	市の水準を超えた手当があるので、平成28年度中に「給与・諸手当検討委員会」で見直す。例外なく検討し、事業を継続するための水準について考える。						
二次評価	専門職確保のための給与水準を確保しつつ、引き続き、「給与・諸手当検討委員会」で適正な見直しを行い、人件費率の縮小に努めていただきたい。							